

おびとせえ

岡山元気ネット

「岡山国際貢献トピア構想を推進する会」は、昨年一月十三日にA M D A (アジア医師連絡協議会)の呼びかけにより、初めて集いました。この会の目的は、人間性への理解に支えられて活動す

る世界のNGO(非政府組織)民間国際協力団体)を支援することにより、岡山を国際貢献の基点にすることにあります。換言すれば、活動する諸NGOの連携とその

したNGO名簿を作成し、お互いの活動を知り合い支え合うための出会いの場を作ります。NGOのあり方は本当に多様です。それぞれが異なる目的をもって、さ

して活動する仲間が現にいることを実感することは、精神的に大きな支えとなります。

本会は、昨年の秋に緊急医療NGOフォーラムと題して海外の活動家を招き、最初の「国際貢献NGOサミット」を開催しました。また、この秋には「生存のための教育」を課題とした第二回目のサミットを予定しています。サミットその

岡山国際貢献トピア構想を推進する会

活動の醸成をすすめることを目的とした会です。会員にはNGOを代表する人と、個人がいます。活動としては、まず県内のNGO組織の連絡経路を作り上げるために、どんな小さな組織も網羅

さまざまな方法で活動を行っています。それらは必ずしも同一の成果を求めているわけではありませんが、「自分の利益とは離れた」他人のために「地域のために」「正しいことのために」を目標

ものは、いわば「お祭り」のようなもので、むしろ長期にわたる準備それぞれが本会の一方の目的でもあります。共通の課題のもと、それぞれNGOが自らの活動に基づいてどのように考えるのか。

どの様な形でこれに関わるのか。これを契機として各NGOが活性化することを期待します。各地の複数の自治体からも協力が得られつつあります。会では広く「仲間」を求めています。個人でも

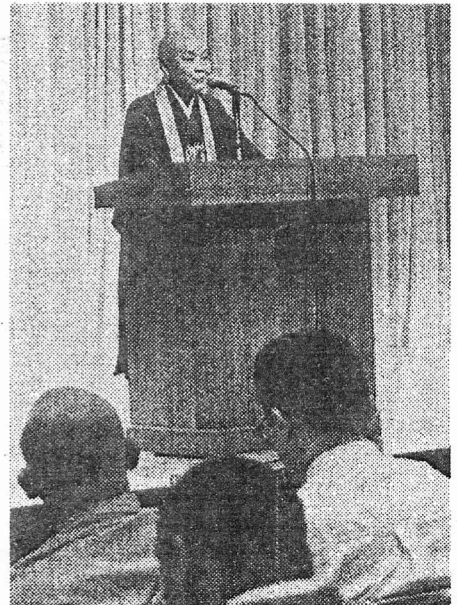
後、被災地の子供たちを受け入れる「短期ホームステイ計画」を企画した。この呼びかけには、実に二百軒以上もの家庭から受け入れの申し出がありました。先月は倉敷JCと共同で被災地域の子供たちを倉敷に招待しました。また先日には「大震災ボランティア反省・報告会」を開催し、近く「音楽巡礼コンサート」も予定しています。

団体でも関心のある方はご連絡下さい。(事務局長・横山學)

NGO組織の活動を醸成

被災地の子供も受け入れ

岡山国際貢献トピア構想を推進する会
現在、会員は三十三団体、個人では約二百人。年会費は個人千円、団体一万円。連絡先はA M D A内の同会事務局(086・284・7730)。



昨年10月に開催したNGOサミットでは瀬戸内寂聴さんが基調講演を行った